

至 急

4 入鹿発第 42 号

令和 4 年 6 月 30 日

役員・総代各位
農事組合長各位
実行組合長各位
農協支店長各位
行政各位

入鹿用水土地改良区

理事長 宮田 成紀

(公 印 省 略)

かんがい用水の節水型運用について (お願い)

日頃は、当改良区の運営に格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、今年のかんがい用水におきましては、田植え用水も満水位から配水することができ、順調な滑り出しを致しましたが、6月中旬以降は雨が遠く、6月降雨量は平年の半分(101mm)であり、貯水位も過去10年で最低となっております。

また6月27日に異例の早さで梅雨明けが発表され、空梅雨に終わったことから、夏場に向けて水不足が大変懸念されるところであります。

6月30日午前8時現在の入鹿池貯水量は1,064万 m^3 であり、9月末までの残りの3ヶ月間に必要な平均かんがい用水総量約1,600万 m^3 を考慮しますと、今後十分な降雨がない場合は大きく水不足に陥ることが想定されます。

したがいまして、早い段階ではありますが、当面の間、かんがい用水の節水型運用を行って参りますので、皆様方の深いご理解とご協力を賜りたいと存じます。

円滑な配水を継続するために、今一度、適度な引水となるよう水口の調整を行い、かけ流し抑制に努めていただき、末端圃場まで水が届くよう組合員各位への周知等にご配慮いただきますようお願い申し上げます。